

人間国宝から  
新進気鋭の若手まで

第52回

# 日本伝統工芸展

陶芸／染織／漆芸／金工／木竹工／人形／諸工芸



日本工芸会奨励賞  
切金箱【滝の朝】 金城 一國彦



【耀彩壺】 徳田 八十吉  
重要無形文化財保持者



【金彩春秋箱】 増田 三男  
重要無形文化財保持者

会期／平成18年

※会期中無休

1月25日(水)～2月5日(日)

開場時間／午前10時～午後8時

(最終日は午後5時閉場、入場は閉場30分前まで)

会場／天満屋広島八丁堀店  
(8階催事場)

主催 広島県立美術館／NHK 広島放送局／朝日新聞社／(社)日本工芸会  
後援 文化庁

入場料 一般 600円 (前売・団体500円、割引550円)  
高・大学生 350円 (前売・団体250円、割引300円)  
小・中学生 250円 (前売・団体150円、割引200円)

※団体は20名以上。前売券は広島県立美術館、広島市内の主なプレイガイド、  
画廊、画材店などで販売しています。

## TENMAYA

天満屋広島八丁堀店/www.tenmaya.co.jp 全  
広島市中区胡町5-22 代表電話082-246-5111



人間国宝から新進気鋭の若手まで

第52回

# 日本伝統工芸展

陶芸／染織／漆芸／金工／木竹工／人形／諸工芸

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を発展継承させることを目的に昭和29年に創設されました。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、前代から受け継いだ優れた技術を一層練磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることを目標としています。本展では、人間国宝（重要無形文化財保持者）から新進気鋭の若手まで日本を代表する作家の作品約250点が展示されます。なお、広島県内からは奨励賞1名を含む8名の作家の作品が入選しています。

## The 52nd Exhibition of Japanese Traditional Art Crafts

In 1954 this annual exhibition was established for the development and inheritance of Japanese art crafts traditions. Traditional art crafts are not mere copies of previous works made faithfully following the existing techniques. Tradition is the basis of art crafts, and the aim of this exhibition is to learn it well, further refine the excellent skill which has been handed down through many generations, and create new works suitable to the modern living. There are about 250 pieces exhibited, classified into seven categories of ceramics, textiles, lacquer works, metal works, wood and bamboo works, dolls and miscellaneous. These works were made by a broad spectrum of craftspeople from Living National Treasures (holders of Important Intangible Cultural Property) to young and energetic artists who represent the Japanese art crafts world. Among these, there are 8 artists from Hiroshima Prefecture including a winner of the encouragement prize.



日本工芸会新人賞【青被硝子線紋切子鉢】大本 研一郎



高松宮記念賞 沈黒線陰箱【能登有情】山岸 一男



日本工芸会奨励賞【縄文・祭祀】桐葉布紙貼 柴田 徳子



朝日新聞社賞 友禅訪問着【通延】毎田 健治



日本工芸会総裁賞【銀鑲銀鉢】木村 太郎



NHK会長賞【青瓷線彩文平鉢】中島 宏



日本工芸会会長賞 花籃【閑映】岐部 笙芳

## 講演会

テーマ：「伝統と創造」（広島県立美術館友の会共催）  
講師：徳田八十吉（重要無形文化財「彩釉磁器」保持者）  
日時：平成18年1月29日（日）13:30～  
会場：広島県立美術館地階講堂（広島市中区上幟町2-22）  
※聴講無料



展示会場は天満屋広島八丁堀店8階催事場ですが、講演会は広島県立美術館で開催しますので、お間違えのないようお願いします。

## ギャラリートーク

- 1月25日（水）伊勢崎 淳（備前焼作家、重要無形文化財保持者）
- 1月26日（木）金城一國彦（漆芸家、日本工芸会正会員）
- 1月27日（金）楠 幹江（安田女子大学教授）
- 1月28日（土）木村 芳郎（陶芸家、日本工芸会正会員）
- 1月29日（日）澤原 英彦（広島文化短期大学教授）
- 1月30日（月）山根 寛齋（木工作家、広島県指定無形文化財保持者）
- 1月31日（火）菅坂 安子（七宝作家、日本工芸会正会員）
- 2月 1日（水）山本 晃（金工家、山口県指定無形文化財保持者）
- 2月 2日（木）岡田 裕（萩焼作家、日本工芸会山口支部幹事長）
- 2月 3日（金）松岡 裕治（木工作家、日本工芸会正会員）
- 2月 4日（土）宮本真希子（広島県立美術館主任学芸員）
- 2月 5日（日）原田 佳子（広島女学院大学教授）

時間：いずれも10:30～

場所：展示会場（天満屋広島八丁堀店8階催事場）

※ 参加は無料ですが、入場券が必要です。



○天満屋広島八丁堀店は市内電車「八丁堀」下車

○広島県立美術館は市内電車（八丁堀で乗り換え）白島線で「縮景園前」下車

お問合せ：

広島県立美術館  
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22  
TEL 082-221-6246 FAX 082-223-1444  
URL <http://www1.hpam-UNET.ocn.ne.jp/>  
Mobile <http://www1.hpam-UNET.ocn.ne.jp/>

